

見どころ案内

ルリタマアザミ (キク科)

ハリネズミのような青い花が咲いています。咲き始めは特に美しいです。これから咲き始める株もありますが、ぜひお早めにご覧ください。ドライフラワーとしても楽しめます。

プルメリア (キョウチクトウ科)

中南米の熱帯地域原産の常緑低木(本園では冬期に落葉)で、タヒチやハワイなどではこの花が好んでレイに使われます。初夏から秋にかけて開花します。

バルボフィラム

グラベオレンス

(ラン科)

ニューギニア原産。黄色と赤のコントラストが美しい花を咲かせます。しかし、美しさに似合わず、花からは臭いにおいを発します。ハエが止まっているのを見かけることもあります。興味のある方はぜひにおいを体験してみてください。

カカオ (アオイ科)

幹に花が咲く幹生花(かんせいか)をつけます。チョコレート原料であるカカオ豆は、この植物の果実から果皮を取り除き発酵させて作られます。

ソーセージノキ

(ノウゼンカズラ科)

アフリカ西部辺りに分布し、一属一種の植物で、花は夜に咲きます。8月上旬頃に、ソーセージのような実をつけます。受粉はコウモリが行います。

アメリカリノキ アナベル

(アジサイ科)

北米原産のアジサイ。純白の花は大きく、育てやすいことから庭植えにお勧めです。終わりに近づいてきましたので、お見逃しなく。

展示会のご案内

◇展示温室 (6/24~7/12)
夏のカラフルリーフ展

◇展示資料館 (6/10~8/6)
むし・花・Zoo-Zoo 写真展

イジュ (ツバキ科)

奄美より南側の南西諸島に自生しています。材は建築や家具に利用されることもあります。花には香りがあり、訪花昆虫をよく見かけます。かなり花が落ちてきていますが、まだ蕾も多くあるので、しばらくは楽しめます。

オミナエシ

(オミナエシ科)

秋の七草として知られていますが、実際の開花期は盛夏です。日当たりのいい草地に黄色の花を咲かせます。

カノコユリ (ユリ科)

漢字で書くと「鹿の子百合」。花卉の模様が鹿の子どもの模様に似ていることが名前の由来です。比較的遅咲きのユリで、咲き始めました。あまり一般的ではありませんが、球根は食用にもなります。

シマトネリコ (モクセイ科)

沖縄や東アジア等に自生しています。白い小さな花が咲いています。遠くからでも樹冠が白く色づいており、よく目立ちます。涼しげで軽やかな印象の樹姿から庭木としても利用されています。斑入りの品種も流通しています。

